

本宮市自主的財政健全化計画の平成20年度実績を報告します

本宮市は、平成20年3月に『本宮市自主的財政健全化計画』を策定しました。計画は、『住民サービスの維持向上と産業の振興』『借入金の適正額までの早期低減』『基本計画事業（合併事業）などの計画的実施』の実現を重点目標としており、

計画の期間は平成32年度までとなっています。平成20年12月には、本宮市総合計画の策定にあわせて計画の全体的な見直しを行い、第1次改訂版を策定し、現在は改訂後の計画に基づいた財政運営を行っています。

平成20年度の決算が確定したことから、『本宮市自主的財政健全化計画平成20年度実績』をまとめましたので、その概要をお知らせします。

◆歳入

平成20年度の歳入の総額は、計画額を約116億2千万円と見込んでいましたが、実績額は約131億9千万円となり、計画額を約15億7千万円上回りました。

これは、地方税や地方交付税の収入が計画よりも多かったこと、計画に含まれていなかった定額給付金事業費や経済危機対策臨時交付金など国からの支出金が増えたことなどが要因です。

【平成20年度歳入】

区 分	計画額	実績額
地方税 (市民税や固定資産税など)	43億3千万円	44億5千万円
地方譲与税 (国税の一部を地方の財源として配分するもの)	2億4千万円	2億3千万円
各種交付金 (地方消費税、交付金など)	4億7千万円	4億4千万円
地方交付税 (市町村の状況により国から地方に分配される交付金)	23億9千万円	26億4千万円
分担金及び負担金	1億7千万円	2億円
使用料及び手数料	1億4千万円	1億5千万円
国・県支出金	16億8千万円	26億9千万円
財産・寄附金・諸収入	2億5千万円	2億8千万円
繰入金 (前年度からの繰越金)	9億1千万円	9億2千万円
繰越金 (前年度からの繰越金)	0千万円	2億円
地方債 (市町村が行う長期の借入金)	10億4千万円	9億9千万円
歳 入 総 額	116億2千万円	131億9千万円

【平成20年度歳出】

区 分	計画額	実績額
人件費 (職員の給与、議員報酬など)	23億円	22億2千万円
物件費 (消費的性質の経費。需用費や旅費など)	11億5千万円	11億4千万円
維持補修費 (道路や建物の修繕費など)	6千万円	8千万円
扶助費 (生活保護費や児童手当などの給付金)	7億7千万円	7億6千万円
補助費等 (補助金、報償費など)	19億7千万円	20億円
公債費 (地方債の元利償還金など)	15億5千万円	15億3千万円
積立金 (財政調整基金などの貯金)	2億8千万円	6億9千万円
投資及び出資金・貸付金	9千万円	9千万円
繰出金 (特別会計への支出金など)	15億7千万円	17億7千万円
投資的経費 (道路、橋、公園など社会資本の整備に要する経費)	18億8千万円	18億5千万円
歳 出 総 額	116億2千万円	121億3千万円

【形式収支】

区 分	計画額	実績額
歳 入	116億2千万円	131億9千万円
歳 出	116億2千万円	121億3千万円
形 式 収 支	0千万円	10億6千万円

◆歳出

平成20年度の歳出の総額は、計画額を約116億2千万円と見込んでいましたが、実績額は約121億3千万円となり、計画額を5億1千万円上回りました。

これは、定額給付金事業の実施による経費、財政調整基金などへの積立額が増えたことなどが要因です。

◆形式収支（歳入と歳出の差額）
形式収支の実績は、約10億6千万円でしたが、その中には平成21年度に使用が決まっている分（定額給付金事業などの平成20年度中に事業が完了しなかった分）が、約5億5千万円含まれています。

◆財政健全化指標の状況

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』では、財政の健全度を判断するいくつかの指標を定めています。本宮市では現在のところいずれの指標も『財政再生団体』や『早期健全団体』の基準を超えてはいません。

健全化計画では、指標のうち『実質公債費比率※』について計画値を定めています。実質公債費比率の平成21年度適用率（平成20年度決算より算出）は、計画値を22・0%としていましたが、実績値は21・7%となり、計画よりも財政の状況がやや改善されています。

しかしながら、適正値とされる18・0%未満よりもまだ比率が高い状況のため、今後事業の効率化を図り、新たな借入の抑制に努めるなど、健全財政に向けた取組みを継続します。

※実質公債費比率……毎年度の経常的な収入に対する借入金返済金の割合

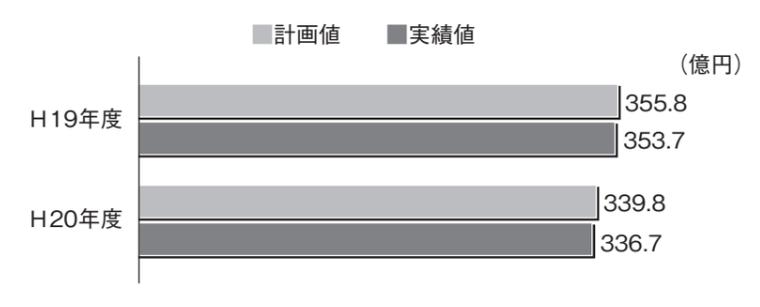
◆債務（借金）残高の状況

平成20年度末の市の債務残高の合計は、計画額を約339億8千万円と見込みましたが、新たな借入の抑制に努めたことなどから、実績額は約336億7千万円であり、計画を約3億1千万円下回りました。

◆基金（貯金）残高の状況

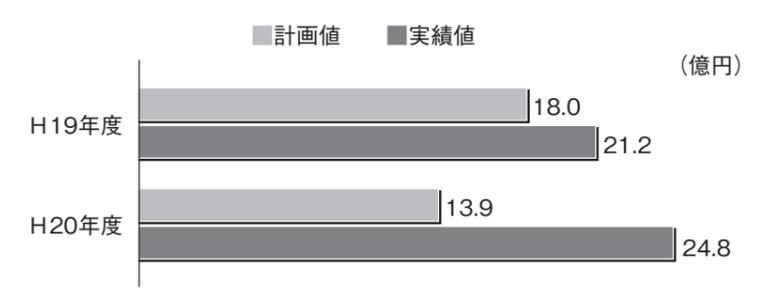
平成20年度末の市の基金（貯金）残高は、計画額を約13億9千万円と見込みましたが、実績額は約24億8千万円でした。そのうち、財政調整基金は、計画額を約8億円と見込みましたが、地方税や地方交付税の収入が計画よりも多かったことなどから、基金からの繰入額が減り、基金への積立額が増え、実績額は約15億7千万円となり、計画額を7億7千万円上回りました。

債務残高（全会計）



※地方債（市債）と債務負担行為の合計額。地方債は元金、債務負担行為は元金金となっています。

基金残高



※財政調整基金……年度間の財源の不均衡を調整するための基金。財源に余裕がある年度に積立し、財源不足の年度に活用します。

『本宮市自主的財政健全化計画 平成20年度実績』の詳しい内容は、本宮市のホームページで公開しています。

◆問い合わせ先 政策推進課 (☎内線222)